

令和4年度

各教科の評価について

3 学年 / 1 学期

この冊子には、各教科の『観点別学習状況の評価(A・B・C)』
の評価対象や方法等についてまとめてあります。

★各観点の目標に対して

○十分満足できると判断されるもの → A
(達成率 80%以上の場合)

○概ね満足できると判断されるもの → B
(達成率 50%以上)

○努力を要すると判断されるもの → C
(達成率 50%未満)

★各教科3つの観点別学習状況の評価を総合して、
その教科の『評定(5・4・3・2・1)』が決まります。

令和4年4月

港区立高陵中学校

3年1学期

国語科の評価について

教科担当

中西

評価の観点

・今学期の目標 評価対象 評価方法など

● 知識・技能

以下の学習活動を通し、国語の知識や技能を身につける。

- ・「漢字」…常用漢字を文や文章の中で活用することができる。
- ・「語彙」や「文や文章」…語句の量を増やし、語句について理解を深めることができる。
- ・「表現の技法」…表現の技法についてその名称とともに理解し使うことができる。
- ・「情報に関すること」…様々な媒体から必要な情報を取り出し、情報同士の関係を整理して、発信したい情報を様々な手段で表現することができる。
- ・「伝統的な言語文化」…伝統的な言語文化に親しみ、長く親しまれている言葉や古典の一節を引用して使うことができる。
- ・「書写」…身の回りの多様な表現を通して、効果的に文字を書くことができる。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）・定期考査など

● 思考・判断・表現

以下の学習活動を通し、考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いを広げたり深めることができる。

- ・「聞くこと・話すこと」…自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫して話したり聞いたりすることができる。
- ・「書くこと」…表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書くことができる。
- ・「読むこと」…文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価をすることができる。

【評価方法】討論や発表・課題作文・授業課題（ワークシートなど）・定期考査

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・「文学的文章(登場人物の言動の意味を読み取る単元)」では、「言動の意味が、ストーリーの展開にどのように関わるかを考察する」言語活動を通して、既存知識を調整して課題解決を図るなど、主体的に学習に取り組もうとしている。
- ・「説明的文章(文章の構成や論理の展開を読み取る単元)」では、文章を「比較」や「批評」する言語活動を通して、課題を解決するための粘り強さを養いながら、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）

【評価例】※「文学的文章(登場人物の言動の意味を読み取る単元)」で、「言動の意味が、ストーリーの展開にどのように関わるかを考察する」ことが授業目標の場合

A…「言動の意味」を文章中の言葉を引用して説明して、その後の展開にどのような役割や意味をもたらすのかを、説得力を高めるために推敲を繰り返し、具体的事例（体験談や既存学習分野を調整して活用）を用いて解説している。

B…「言動の意味」を文章中の言葉を引用して説明して、その後の展開にどのような役割を担うのかを読む側の立場に立って解説している。

3年1学期

社会科の評価について

教科担当

小柳

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

【歴史】第7章 二度の世界大戦と日本 第8章 現代の日本と世界
【公民】第1章 現代社会と私たち 第2章 個人の尊重と日本国憲法

● 知識・技能

- 【歴史】・第二次世界大戦終結までの国際情勢および我が国・諸外国の動きと戦争までの経緯、大戦が人類全体へ惨禍を及ぼしたことを理解している。
- ・終戦以降のさまざまなできごとについて、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。
- 【公民】・現代日本の特色や、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。
- ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。

【評価方法】 単元テスト、定期考査、ワークシート、発言発表、行動観察

● 思考・判断・表現

- 【歴史】・近現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
- ・政治の展開と国民生活の変化などに着目し、国民生活への影響や国際平和の実現への努力などについて多面的・多角的に考察し、表現している。
- 【公民】・対立と合意、効率と公正などに着目し、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。
- ・個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。

【評価方法】 単元テスト、定期考査、ワークシート、発言発表、行動観察

● 主体的に学習に取り組む態度

- 【歴史】・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
- ・人間の尊厳についての考え方や、日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
- 【公民】・現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
- ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

【評価方法】 行動観察、発言発表、ノート、ワークシート、提出物（宿題等）

【評価例】単元の学習の振り返り時の記述を基に評価する場合。（ワークシート）

- A・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述し、さらに妥当性のある根拠をもった具体的な解決策を提案したりするなど、質的な高まりや深まりをもとうとしている。
- B・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述しようとしている。

3年1学期

数学科の評価について

教科担当

桑原・大久保・和田

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 1章 文字を使って説明しよう〔多項式〕
2章 数の世界をさらにひろげよう〔平方根〕
3章 方程式を利用して問題を解決しよう〔2次方程式〕

● 知識・技能

- ・単項式と多項式の乗法及び除法の計算をすることができる。
- ・公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。
- ・数の平方根の必要性、有理数・無理数の意味を理解している。
- ・平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。
- ・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。
- ・平方の形に変形したり、因数分解を利用して2次方程式を解いたりすることができる。
- ・解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 思考・判断・表現

- ・既に学習した計算の方法と関連付け、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。
- ・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係をとらえ説明することができる。
- ・既に学習した文字式の計算と関連付け、数の平方根をふくむ式の計算方法を考察し表現することができる。
- ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。
- ・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し、表現することができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・式の展開や因数分解、数の平方根、2次方程式の必要性や意味を考えようとしている。
- ・式の展開や因数分解、数の平方根、2次方程式について学んだことを学習に生かそうとしている。
- ・式の展開や因数分解、数の平方根、2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
- ・毎時間の授業に積極的に参加し、数学を活用して、問題解決に向けて積極的に取り組もうとしている。
- ・分からない問題に対し質問をしたり、話し合いをしたりすることで粘り強く考察し、解決しようとしている。

【評価方法】

単元テスト、行動観察、ワークシート、振り返りシート

【評価例】

1つの問題に対するいくつかの解き方を比較し、自分なりの考察を加えて、残した記述をもとに評価する場合。（ワークシート）

A・・・複数の解決方法に対して自分なりの考察を加え、より良い方法を理由とともに記述しようとしている。

B・・・複数の解決方法があることを理解しようとしている。

3年1学期

理科の評価について

教科担当

儀保

評価の観点 ・ 今学期の目標 ・ 評価対象 ・ 評価方法など

● 知識・技能

- ・細胞が分裂する時の染色体のふるまいについて理解し、知識を身につけている。
- ・プレパラートをつくり、いろいろな分裂像を見つけ出し、正確にスケッチすることができる。
- ・教科書で学習した理科用語について、正しく説明し、的確に用いることができる。
- ・安全に配慮しながら実験器具を正しく操作し、実験を行うことができる。
- ・実験の結果や観察のスケッチなどを、正確に記録することができる。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、レポート、ワークシート、小テスト、定期考査

● 思考・判断・表現

- ・細胞分裂の観察の結果をもとに自ら考え、細胞分裂の連続的なつながりを導き出すことができる。また写真資料をもとに、根の生育と細胞の変化について考察することができる。
- ・メンデルの実験結果から、分離の法則を理解し、実際に遺伝のモデル実験を計画することで、遺伝の規則性について探究している。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、レポート、ワークシート、定期考査

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・遺伝のモデル実験について、探究の過程をふり返り、遺伝や遺伝の規則性についての理解を深めようとする。
- ・ほかの班の実験結果にも興味を示し、意欲的に結果の発表を聞くことができる。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、自己評価、ノート、レポート、ワークシート、課題提出

【評価例】

単元学習の事前と事後に、自分の知識をイメージマップにまとめ、それらを比較することで自己の成長や変容を表現しようとしているかを評価する場合。

A…単元の内容に関する用語が増え、用語どうしの結び付きに広がりが見られる。振り返りにおいては、イメージマップにまとめた学習内容を踏まえながら、学習内容の理解の深まりを自覚しており、意欲の高まりが見て取れる。

B…イメージマップでは用語どうしが正しく結び付けられており、学習前と比べて学習内容の用語が増えている。学習内容が理解できたことを自覚し、意欲の高まりも見えて取れる。

3年1学期

音楽科の評価について

教科担当

山 崎

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

歌唱【花】◎ガイダンス ◎日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう
 鑑賞【ブルタバ】【展覧会の絵】◎音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう
 器楽【きらきら星】【威風堂々】◎曲の構成を理解し、表情豊かに演奏しよう。
 合唱【合唱コンクール課題曲】◎全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう

● 知識・技能

- ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。
- ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表すことができる。
- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。

【評価方法】定期考査 行動記録 ipadによる記録 ワークシート ワーク

● 思考・判断・表現

- ・ 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えをもち、言葉にすることができる。
- ・ 曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いたことを記述することができる。
- ・ リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を書き込むことができる。
- ・ 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を書き込むことができる。

【評価方法】定期考査 ワークシート ワーク iPadによる記録

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】定期考査 行動観察 ワークシート iPadによる記録

【評価例】

○教科書・ワーク・楽譜・プリント・ファイル提出

A・・・工夫しようとしている（自分で調べたこと、友達の意見、色を使っている）

B・・・学んだことを書き込もうとしている。

○iPadによる学習の成果の記録

A・・・最初に録音したものと学習を深めた後の録音で変化をわかろうとしている。

B・・・最初に録音したものと学習を深めた後で変化はわからないが言葉で伝えようとしている。

3年1学期

美術科の評価について

伊 藤

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

知識・技能

- ・造形的な見方、考え方を働かせて表現の技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表現することができる。
- ・スクラッチの素材と用具について理解し、独自に発想したイメージを効果的に表現している。
- ・点や線の粗密、ハッチング、強弱などを工夫し、質感や空間表現に生かすことができる。
- ・スクラッチの技法に合わせて効果的な彩色表現をする。
- ・作業手順を理解し、計画に合わせて表現の工夫をしながら、的確に作業を進めている。
- ・日本美術史の概要を把握している。

思考・判断・表現

- ・題材や素材から、自由に発想を広げ、画面構成を創意工夫している。
- ・状況に応じ、表現方法を取捨選択し、より豊かなイメージの作品へと繋げている。
- ・スクラッチの素材と題材について理解し、独自に発想したイメージに基づいて、表現方法の構想を練っている。
- ・技法や表現の効果を取り入れながら多様な可能性（複数のアイデア）を検討し、最善の表現のための構想を練っている。
- ・感性や想像力を働かせて、美術作品や参考資料などから発想を得たり、美しさを味わったりすることができる。
- ・作品鑑賞においてよさや美しさを味わい、作者の意図や表現の多様性を理解することができる。
- ・美術文化や表現様式に対して、見方や感じ方を深めている。
- ・日本美術史の概要を把握し、作品を鑑賞し、よさを味わうことができる。

主体的に学習に取り組む態度

- ・技法や材料の相違による創造活動の喜びを味わい、主体的に学習に取り組もうとしている。
- ・多様な作品のよさや美しさに興味を深めようとしている。
- ・スクラッチの素材と題材について理解し、関心を深めようとしている。
- ・イメージをスクラッチの技法で表現することに興味を持って制作に取り組もうとしている。
- ・授業や課題には積極的に取り組み、意欲的に作業をしたり発言したりしようとしている。
- ・作品の完成度を高めるために創意工夫をし、最後まで根気よく丁寧に制作しようとしている。
- ・美術の準備、後片付けができ、作業時間を有効に利用しようとしている。
- ・忘れ物をしない。提出物の提出期限を守ろうとしている。

今学期の主な評価対象

- ・授業への取り組み方
- ・アイデアスケッチ
- ・作品
- ・期末考査

3年1学期

保健体育科の評価について

教科担当

菅谷・服部

評価の観点

今学期の目標・評価対象・評価方法など

体づくり運動・陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・ハードル走)

球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール)

保健(感染症の予防・エイズ及び性感染症の予防)

● 知識・技能

○知識

- ・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
- ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
- ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。
- ・感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

○技能

- ・スタートダッシュでは地面を強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。
- ・後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ることができる。
- ・リレーでは、次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めることができる。
- ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。
- ・遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐに振り上げ、ハードルを低く走り越すことができる。
- ・身体の軸を安定させてバットを振り抜き、タイミングを合わせてボールを捉えることができる。
- ・捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。
- ・サービスやパスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。
- ・ボールを相手側のコート上の空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。
- ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。
- ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。

● 思考・判断・表現

- ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。
- ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。
- ・分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。
- ・感染症の予防や健康を守る社会の取組について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・体づくり運動、陸上競技、球技、保健の学習に自主的に取り組もうとしている。
- ・仲間に課題を伝え合うことや、互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。
- ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。
- ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。
- ・自己や仲間の課題解決に向けた話合いや作戦などについての話合いに貢献しようとしている。
- ・健康・安全を確保しようとしている。
- ・健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に向けた活動に自主的に取り組もうとしている。

【評価方法】・行動観察 ・学習カード ・実技テスト ・期末考査

【評価例】 仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている様子を観察して評価する場合。

A・・・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を常に果たそうとしている

B・・・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。

3年1学期

技術科の評価について

教科担当

末永

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

○情報に関する技術

・フローチャート、プログラミング、外部装置とプログラミング、センサー

● 知識・技能

- ・フローチャートが正しく描ける。
- ・センサーの種類と特徴を理解することができる。
- ・プログラミングをすることができる。

【評価方法】

小テスト、定期考査、行動観察、ワークシート、作品

● 思考・判断・表現

- ・実習の際に手順などを考えて、より緻密な動作をする作品を作ることができる。
- ・毎回の授業で学んだことをまとめ、表現することができる。

【評価方法】

定期考査、行動観察、ワークシート、作品

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・実習の際に、自分の作業ペースを考えながら、毎回適切な目標を立てようとして、それを達成するために、粘り強く作業に取り組もうとしている。
- ・積極的に社会的な課題やSDGsなどについて考え、それを解決するためにはどのようなことができるかなどを考え、探求しようとしている。
- ・何度エラーが出たり、思った挙動をしなくてもトライアンドエラーでデバッグすることができる。

【評価方法】

行動観察、ワークシート、定期テスト、作品

【評価例】

作品づくりをする際の最初の目標設定と最後の振り返りで評価する場合。（ワークシート）

- A・・・自分の作業ペースを考えながら、その日の目標を具体的に立てることができ、振り返りの際に達成・未達成にかかわらずなぜこの結果になったのか記入しようとしている。
- B・・・その日の最初に目標を立てることができ、振り返りの際に、達成できたが未達成だったのか記入しようとしている。

3年1学期

家庭科の評価について

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

5編 1章 家族・家庭と地域
2章 幼児の生活と家族

● 知識・技能

- ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解している。
- ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。
- ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。
- ・幼い頃を振り返り、周囲の人とのかかわりの大切さについて理解している。
- ・幼児の心身の発達の特徴について理解している。
- ・幼児の発達と生活の特徴について理解している。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品・実技試験

● 思考・判断・表現

- ・自分や家族が担う家族・家庭の基本的な機能を考え、生活を工夫している。
- ・自立に向けて中学生の自分にできることを考え、工夫している。
- ・幼児の心身の発達の特徴を踏まえたうえで、適切なかかわり方を工夫している。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品・実技試験

● 主体的に学習に取り組む態度

・家族・家庭や地域における生活の課題について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善しようとしたりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。

。幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動をふりかえって改善し、工夫し、創造し、実践しようとしている。

【評価方法】

行動観察・ワーク・振り返りシート

【評価例】

課題に対して自分で立てた計画や考えを振り返り、自分なりの考察を加えて残した記述をもとに評価をする場合。

A…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどを参考に、向上心を持ち自ら取り組むなど具体的な解決策を考え、実生活に生かそうとすることが伝わる記述や作品作りをすることができる。

B…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどがあることを理解することができる。

評価の観点 ・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

- Unit 0 ・世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったりすることができる。
- Unit 1 ・障がい者スポーツについての理解を深め、これまでに経験したことに基づき、相手にあった日本を楽しんでもらうためのプランを考えることができる。
- Let's Write 1 表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。
- Let's Listen 1 人の意見を聞いて、自分の意見を整理し伝えることができる。
- Unit 2 ・日本の伝統文化の魅力を知り、お互いの好きなことや長く取り組んできたことについて話し合うことができる。
- Let's Talk 1 ・初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。
- Let's Listen 2 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。
- Unit 3 ・世界の絶滅危惧種の動物について知り、自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。
- Let's Write 2 社会的な話題について、理由や根拠を含んだ記事を書くことができる。
- Let's Read 1 場面の変化や登場人物の心情などを理解し、物語文を読むことができる。

【知識・技能】

- 受け身の文を使った文の形・意味・用法を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に着けている。
- 現在完了形の経験用法の文の形・意味・用法を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に着けている。
- 第五文型の文を理解し、経験や気持ちの変化について英語で伝えたり、書いたりする技能を身に着けている。
- 手紙を書く基本的な表現を理解し書く技能を身に着けている。
- ディスカッションを聞き、内容を理解し、自分の考えを書いたり、伝えたりする技能を身につけている。
- 現在完了形の継続用法、現在完了進行形の文の形・意味・用法を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に着けている。
- It for to..., want 人to..., help 人 to..などの文型を理解し、伝えたり、書いたりする技能を身に着けている。
- 自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現を理解している。
- 話の流れに沿って、適切なポーズやイントネーションで本文を音読することができる。

【思考・判断・表現】

- 行ってみたい世界遺産についてと、そこで話されている言語について、伝え合ったり書いたりすることができる。
- 障がい者スポーツについて書かれた文章の概要をとらえ、経験に基づいて相手に日本を楽しんでもらうプランを伝えることができる。
- 好きな有名人に自分の自分の気持ちや感想を伝えるために表現を工夫してファンレターを書くことができる。
- 日本の伝統文化の魅力を知るために、言語や文化について書かれた文章の概要をとらえ、お互いの好きなことや取り組んできたことについて尋ねたり伝えたりすることができる。
- 社会的な話題についての講演を聞き、概要をとらえたり、自分の意見を根拠や理由を明確にして相手に伝えたりすることができる。
- 自分の経験や他の人へのメッセージを即興で話したり、原稿を推敲してまとまりのある文章を書いたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 行ってみたい世界遺産について伝えたり、友達の意見を聞こうとしたりしている。
- 外国の人に日本滞在を楽しんでもらえるように、経験に基づいて相手にあったプランを伝えたりしようとしている。
- 必要な情報を得るために、相手に即興で質問したり、自分の意見を言おうとしたりしようとしている。
- 日本の伝統文化の魅力を知るために文章を読み取ったり、お互いのことについて尋ねたり、伝え合ったりしようとしている。
- 相手の状況に配慮しながら質問したり、会話を継続しようとしていたりしている。
- 社会的な話題に関して、自分の立場を決め、理由と根拠を明確にして相手に伝えようとしている。
- (評価方法) 行動観察、ワークシート、パワーポイント資料、定期考査、ワークブック等
- (評価例) 「A」 世界遺産について9つの項目以上について調べた内容について、パワーポイントを用いて発表している。
- 「B」 世界遺産について調べた内容について、パワーポイントを用いて発表している。